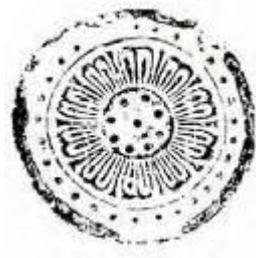


大分市歴史資料館年報

(平成 26 年度)



2015

はじめに

平成 26 年度の大分市歴史資料館年報をお届けします。本年度の展示事業では、「おおいたに遊ぶー物見遊山の旅」・「化けた！出た！道具のおぼけ」・「掘った！出た！市内の遺跡」の 3 回のテーマ展示と「西洋との出会い 豊後府内と南蛮貿易」の大友特集展示、特別展「変幻自在を極めるー縄文と弥生のかごと木工芸」を開催しました。

特別展は、大分市横尾から出土した縄文時代の「黒曜石を収納したかご」の意義を広く知っていただく目的から、全国各地から出土した縄文・弥生時代のかごや木製品の遺物と、その復元品の展示をあわせて行い、それらを介して当時の人々の優れたかご編みや木製品制作の技術をわかり易く紹介しました。

教育普及事業では、昨年と同様、考古・歴史・民俗文化史・古文書の「ふるさとの歴史再発見」講座をはじめ、土偶作り・粘土はにわ作り・土笛作り・勾玉作りなどの「体験講座」を実施するとともに、新たに「折り紙雛作り」の体験講座を行いました。この折り紙雛作りでは、多くの成人女性が受講され、その参加者の多くからたいへん喜んでいただきました。

平成 25 年度から始めた「まちかど歴史展示館」では、支所や、行政センター・公民館での実施に加えて、本年度からは市内の中学校にも活動の場を広げ、結果、昨年度を大いに上回る 23,075 人の方々にご覧いただきました。

また本年度、大分市教育委員会により平成 22 年から同 26 年にかけて刊行された『大分市伝統文化調査報告書』全 13 冊のガイドブックとして、報告書の年中行事の内容を中心にわかり易く紹介した『おおいた春夏秋冬 暮らしの行事』を作成しました。このガイドブックが、今も市内各地に伝わる祭りや行事の理解の一助とされ、ひいては地域の歴史を掘り起こす機会ともなれば幸いと存じます。

今後とも魅力ある事業内容を図りながら、多くの方々に楽しんで学習してもらえる資料館づくりに向けて職員一同、頑張っって参りたいと思います。

平成 27 年 7 月 30 日

大分市歴史資料館
館長 武富雅宣

目 次

展 示	1
テーマ展示 特別展 その他の展示 まちかど歴史展示館	
資料収集	10
教育普及活動	15
歴史資料館利用状況	21
管理及び運営	22
歴史資料館協議会 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出 施設管理業務の内容	
施設の概要	23
利用案内	24

展 示

(1) テーマ展示

第1回 「おいたに遊ぶー物見遊山の旅」

会期 4月19日(土)～6月29日(日)

開館日数：61日 入館者数：4,536人

江戸時代の庶民にとって長期にわたって村や町を離れる旅は、「お伊勢参り」に代表される信仰を目的とした寺社参詣や湯治・商いなどに限って許されていた。当時人々は、こうした限られた旅の機会を最大限に利用し、名所旧跡や名物を巡る物見遊山の旅を楽しんだという。

本展では、大分にまつわる紀行文・絵図・出版物などを通して、旅人を誘った当地の観光の魅力を紹介した。

主な展示構成・展示品

[全国に知られた「濱之市」] 画典通考／御城下絵図／「豊後濱市」の図 [豊後の名所に数えられた由原八幡宮と高崎山] 「四極山新樹」の図／杵築府内間山水図 [豊後路を案内した「豊後国細見絵図」] 豊後国細見絵図／西国順禮獨案内 [明治時代の大分の名所] 九州八県連合共進会場図／大分町図 [日本屈指の便利な温泉場] 豊後各温泉案内図 [大正時代の大分の名所] 大分市鳥瞰図／「西遊雑記」(写本)／「豊国紀行」(写本)



テーマ展示室入口



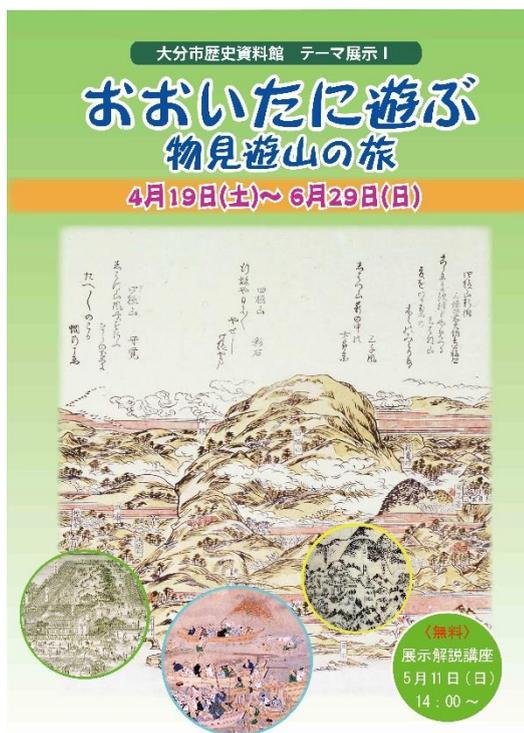
展示風景「御城下絵図」



展示風景「杵築府内間山水図」



展示風景「豊後国細見絵図」ほか



第2回 「化けた！出た！道具のおばけ」

会期 7月12日(土)～9月28日(日)

開館日数：67日 入館者数：4,926人

私たちに身近な道具は時代の変遷とともにその役割や機能、使い方も変化を遂げてきた。しかしその一方で不要とされ、打ち捨てられた道具は、やがてはおばけとなって、モノの大切さを訴えるかのように人々の前に現れると考えられてきた。

本展では、百鬼夜行絵巻に描かれた道具のおばけたちの世界と、モノを大切にしてきた日本人の文化を、資料館に所蔵されている民俗資料や絵画資料を交えながら紹介した。

主な展示構成・展示品

[イメージされたおばけ] 日本山海名物図会／大織冠図屏風／東海道中栗毛野次馬／豊後緒方の鼻祖、花の本

[百鬼夜行する道具たち] 壊れた結桶／箕／挽臼／鍋／燭台／行火／菓研／菓箆／張り子(斎藤行雄氏蔵)

[道具が化けるようになったわけ] 職人絵尽し／七十一番職人歌合／かわらけ／漆器椀／分銅／竿秤
[現代のつくも神のゆくえ] トランジスタラジオ／携帯電話／デジタルカメラ／パソコン

【パネル資料】「百器夜行絵巻」兵庫県立歴史博物館蔵／「付喪神絵詞」京都市立芸術大学芸術資料館蔵／「百鬼夜行絵巻」国際日本文化研究センター蔵



テーマ展示室入口



展示風景「大織冠図屏風」



展示風景「パネル資料」



展示風景「百鬼夜行する道具たち」

第3回 「掘った！出た！市内の遺跡」

会期 1月10日(土)～3月29日(日)

開館日数：67日 入館者数：4,022人

毎年、市内の各所で遺跡の発掘調査が行なわれ、地域の歴史やそこに住んだ人々の暮らしなどが明らかにされてきている。

本展では、こうした遺跡の中から特に新聞で話題となった出土品や遺跡を紹介した。

主な展示構成・展示品

[猪野遺跡] 地中に納められた銅矛

[大道遺跡郡] 完形な形で見つかった木製臼 / 井戸祭祀に使われた土器 / 「厨」と刻まれた土師器 / 大溝跡から出土した須恵器・土師器・瓦 / 古代の役所に関わる遺物 - 帯金具・石帯・円面硯・猿面硯・転用硯・奈良三彩・灰釉陶器・緑釉陶器・都城系土師器・漆の付着した土師器 / 古代以前の特殊遺物 - 猿形土製品・土製模造鏡・青銅鏡片

[羽田遺跡] 大型鉄釜の鋳型発見 - 鉄釜鋳型・鉄釜・復元品 / 鋳型の鋳造模型 / 溶解炉 / 鑿の鋳型

[大友氏館跡] 大友氏の繁栄を伝える陶磁器 - 青磁器台・青磁酒海壺・青花梅瓶(元代・明代)

[府内城・城下町跡] 涼しげな音色を奏でる水琴窟 - 府内城下町移転時の光西寺の遺物 - 京都系土師器・青花・唐津焼 / 光西寺の建物を飾った瓦 - 軒瓦・鬼瓦・鯨瓦 / 不発弾に間違えられた花瓶



テーマ展示室入口



展示風景「猪野遺跡出土銅矛」



展示風景「羽田遺跡出土鉄釜」



展示風景「府内城・城下町跡」

(2) 特別展

第33回特別展 変幻自在を極める－縄文と弥生のかごと木工芸－

平成 13 年 5 月、当市の国指定史跡横尾貝塚の発掘現場において、世界的な大発見があった。それは縄文時代の黒曜石を収納した木製のかごで、縄文人の交易を具体的に示す極めて重要な埋蔵文化財となっている。

このように、縄文人と弥生人の先人たちは、自然の植物を変幻自在に操り、竹ヒゴのように細長く加工した木や蔓などを使ってさまざまな形のかごを編み出し、また製材した木を使って秀麗な木製容器を創り出した。

本展では、横尾貝塚から発見されたかごをはじめ、日本各地から発見されたかごや木製容器などの発掘品とその復元品を並べて展示し、先人たちの卓越した技から生まれた見事な機能美や造形美を堪能していただいた。併せて、市内の竹細工や竹工芸の作品を通じて、継承された伝統の技を紹介した。

なお、会期中の 11 月 9 日(日)に、首都大学東京人文科学研究科研究院教授の山田昌久氏をお招きし、「実験考古学で考える縄文人と弥生人の生活」の演題にて記念講演会を開催した。

平成26年度特別展 第33回

変幻自在を極める

縄文と弥生のかごと木工芸

会期 26年 10月24日(金) ~ 11月24日(月)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 10月27日/11月10日・17日
観覧料 大人 200円(団体 150円) 高校生 100円(団体 50円)
中学生以下観覧料は別途お申し込みの上
※小中学生観覧料は、観覧券を複数枚購入することで併せてお申し込みください。

【記念講演会】
■日 11月9日(日) 午後1時30分～
■講 師 山田昌久氏(首都大学東京 人文科学研究科研究院教授)
■テーマ 実験考古学で考える縄文人と弥生人の生活
■場 所 大分市歴史資料館
■料 金 無料 ※参加費は、観覧料が無料になります。

【展示解説】
■日 11月2日(日) 午後2時～
■料 金 無料 ※参加費は、観覧料が無料になります。

大分市歴史資料館
〒870-0864 大分市大津町4-9-20 TEL 0974-509-0389
http://www.city.ohita.lg.jp/ohita/ohita.html

会期：10月24日(金)～11月24日(月)
会場：第2展示室・テーマ展示室
開館日数：28日 入館者数：5,211人
出品点数：73点

記念講演会

日時：11月9日(日) 午後2時～4時

会場：資料館講座室

聴講者数：56人



開催式典の様子



式典後の展示解説の様子



記念講演会の様子

展示構成及び展示品リスト

第一章 縄文時代のかごの機能美						
番号	遺跡等	資料	遺構等	時代	数量	所蔵者
1	東名遺跡	かご(1)	SK2154編物①～⑤	縄文時代 早期後半頃	1	佐賀市教育委員会
2		かご(2)	SK1008編物①	縄文時代 早期後半頃	1	
3		かご(2)復元品		現代	1	個人
4		かご(3)復元品		現代	1	
5		かご(4)	SK2138編物②	縄文時代 早期後半頃	1	佐賀市教育委員会
6		かご(4)復元品		現代	1	
7		かご(5)	AM2016編組製品	縄文時代 早期後半頃	1	
8		かご(5)復元品		現代	1	
9	横尾貝塚	黒曜石を収納したかご	82SX070	縄文時代 早期末	1	大分市教育委員会
10		黒曜石を収納したかご復元想定品		現代	1	個人
11	龍頭遺跡	かご	SK52	縄文時代 後期初頭頃	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
12		かご復元品(1)		現代	1	個人
13		かご復元品(2)		現代	1	うーたの会
14		かご復元品(3)		現代	1	個人
15		かご復元品(4)		現代	1	個人
16	正福寺遺跡	かご(1)	H7gアミ5	縄文時代 後期初頭頃	1	久留米市教育委員会
17		かご(2)	J8gアミ102	縄文時代 後期初頭頃	1	
18		かご(3)	H6gかご2	縄文時代 後期初頭頃	1	あみもの研究会
19		かご(3)復元品		現代	1	
20		かご(4)立体復元	SK49アミ3	縄文時代 後期初頭頃	1	
第二章 弥生時代のかごの造形美						
番号	遺跡等	資料	遺構等	時代	数量	所蔵者
21	福岡遺跡	かご	SK620	弥生時代 前期後半頃	1	米子市教育委員会
22		かご復元品(1)		現代	1	鳥取県立むきまぼんだ史跡公園
23		かご復元品(2)		現代	1	
24		かご復元品(3)		現代	1	個人
25	青谷上寺地遺跡	かご(1)	KJA44941	弥生時代 後期初頭～後葉頃	1	鳥取県立埋蔵文化財センター
26		かご(1)復元品		現代	1	
27		かご(2)	KJA44905	弥生時代 中期後葉頃	1	
28		かご(2)復元品		現代	1	
29		かご(3)	KJA44726	弥生時代 中期後葉頃	1	
30		かご(4)	KJA4444	弥生時代 中期後葉頃	1	
31		かご(4)復元品		現代	1	
第三章 洗練された木工の名品						
番号	遺跡等	資料	遺構等	時代	数量	所蔵者
32	分谷地A遺跡	素漆塗り黒色木製容器		縄文時代 後期前葉頃	1	胎内市教育委員会
33		朱漆塗り木製容器			1	
34		素漆塗り黒色木製容器復元品		現代	1	個人
35		朱漆塗り木製容器復元品			1	
36		朱漆塗り木製鉢		縄文時代 後期前葉頃	1	
37	朱漆塗り木製鉢復元品		現代	1	個人	
38	青谷上寺地遺跡	木製花卉(6弁)大型高坏	KJB17370	弥生時代 後期	1	鳥取県立埋蔵文化財センター
39		木製花卉(6弁)大型高坏復元品		現代	1	島根県立古代出雲歴史博物館
40		木製大型花卉高坏解説用立体模型			1	鳥取県立むきまぼんだ史跡公園
41		木製花卉(5弁)高坏	KJB26385	弥生時代 後期	1	鳥取県立埋蔵文化財センター
42		木製花卉(5弁)高坏復元品		現代	1	島根県立古代出雲歴史博物館
43		木製脚付合子蓋	KJA44000	弥生時代 中期	1	鳥取県立埋蔵文化財センター
44		木製脚付合子身			1	
45		木製脚付合子蓋復元品		現代	1	島根県立古代出雲歴史博物館
46		木製脚付合子身復元品			1	
47		木製蓋(1)	KJA26614		1	
48	木製蓋(1)	KJA26711		1		
49	木製蓋(2)	KJA30027	弥生時代 後期	1	鳥取県立埋蔵文化財センター	
50	木製蓋(2)	KJA34542		1		
第四章 名工の手仕事を支えた道具						
番号	遺跡等	資料	遺構等	時代	数量	所蔵者
51	復元製作に使用した道具	刺針		現代	1	個人
52-1	模刻制作に使用した道具	先丸追入れ鑿		現代	1	個人
52-2		内丸鑿			1	
52-3		内丸曲り鑿			1	
52-4		先丸曲り鑿			1	
52-5		四目錐			1	
53-1	大分市指定無形文化財廻栖野の竹細工技術保持者の道具	竹割包丁		現代	1	個人
53-2		竹包丁			1	
53-3		ハバトリ			1	
53-4		面取り			1	
53-5		フットオシ			1	
54	東名遺跡	骨製針	第2貝塚	縄文時代 早期後半頃	1	佐賀市教育委員会
55		骨製針入れ			1	
56	青谷上寺地遺跡	骨製針(1)	7区SD27	弥生時代 中期中葉～後葉頃	1	鳥取県立埋蔵文化財センター
57		骨製針(2)	7区②層	弥生時代 後期初頭～古墳時代 初頭頃	1	
58		骨製針入れ(1)	3区II層	弥生時代 中期	1	
59		骨製針入れ(2)		～古墳時代 前期初頭頃	1	
60		鉄製袋状鑿	KJB8572	弥生時代 中期～古墳時代 前期初頭頃	1	
61		鉄製鉋	KJB3153	弥生時代 中期～古墳時代 前期初頭頃	1	
62		耳かき状鉄器	KJB2959	弥生時代 中期～古墳時代 前期初頭頃	1	
第五章 受け継がれた伝統の技と竹工基の新境地						
番号	遺跡等	資料	遺構等	時代	数量	所蔵者
63	人間国宝	忍竹拵網代編文庫		昭和5年頃	1	大分市美術館
64	生野祥雲齋作	竹華器 怒涛		昭和35年	1	
65		輪花永芳盛籃		昭和19年	1	
66		無双編盛籃		昭和38年	1	
67	生野徳三作	紫竹荒編華籃 久寿玉		昭和39年	1	
68		無双		昭和54年	1	
69		白竹の籠「海宇」		平成10年	1	
70	大分市指定無形文化財	コエジョウケ			1	個人
71	竹細工認定者の作品	マンゴク		現代	1	
72		イナリグチ			1	
73		米揚げ			1	



特別展会場入口



「1. 縄文時代のかごの機能美 東名遺跡」



「1. 縄文時代のかごの機能美 正福寺遺跡」



「1. 縄文時代のかごの機能美 横尾貝塚・龍頭遺跡」



「2. 弥生時代のかごの造形美 福岡遺跡」



「2. 弥生時代のかごの造形美 青谷上寺地遺跡」



「3. 洗練された木工の名品 分谷地A遺跡」



「朱漆塗り木製容器 素漆塗り黒色木製容器 分谷地A遺跡」



「漆塗り木製容器復元品 分谷地 A 遺跡」



「朱漆塗り木製鉢と同復元品 分谷地 A 遺跡」



「復元品の製作者による解説パネル」



「3. 洗練された木工の名品 青谷上寺地遺跡」



「3. 洗練された木工の名品 青谷上寺地遺跡」



「4. 名工の手仕事を支えた道具」



「5. 受け継がれた伝統の技と竹工芸の新境地 生野祥雲斎ほか」



「5. 受け継がれた伝統の技と竹工芸の新境地 廻栖野の竹細工」

(3) その他の展示

大友特集展示

●今年度、7月26日から8月31日の期間、「西洋との出会い 豊後府内と南蛮貿易」と題して大友氏に焦点を当てた特集展示を行った。

本特集展示では、西洋に輸出された南蛮漆器や輸入された陶磁器などの交易品、交易のようすが描かれた南蛮屏風、交易の中で伝わった日本の情報をもとに作成された古地図などの資料を通して、当時盛んに行われた南蛮屏風のようすを紹介した。

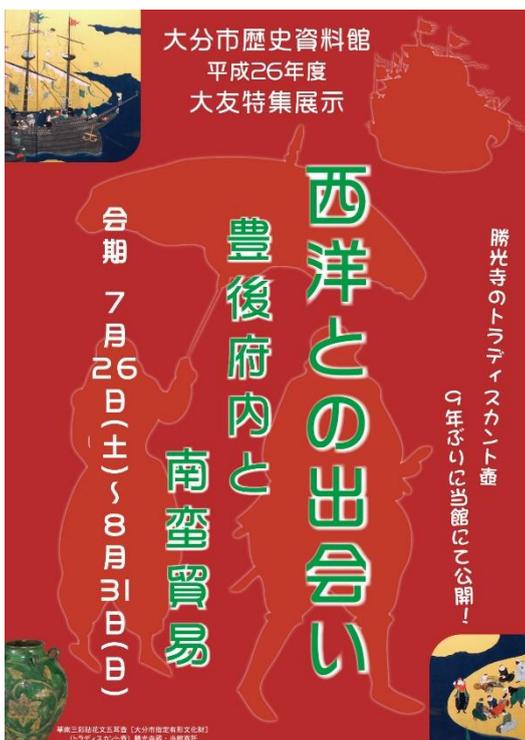
また、大友氏との関わりの深い勝光寺（大分市竹中）に代々伝わってきた市指定有形文化財の華南三彩貼花文五耳壺（トラディスカント壺）も、当館では9年ぶりに展示した。

展示構成・展示品

[交易された品々]御取納丁銀模造品／鮫皮貼蒔絵螺鈿洋櫃／花樹鳥文蒔絵螺鈿洋筆筒／タイ焼締陶器四耳壺／華南三彩刻花文六耳壺／華南三彩貼花文五耳壺（勝光寺蔵／当館寄託）

[南蛮貿易の風景]南蛮屏風右隻（模写）原本：神戸市立博物館

[西洋に知られた豊後府内]オルテリウス アジア図／ティセラ 日本図



特集展示入口



展示風景「交易された品々」



展示風景「南蛮貿易の風景」



展示風景「西洋に知られた豊後府内」

大分市民図書館 「郷土史コーナー」

●「ホルトホール大分」内に置かれた大分市民図書館の郷土史コーナーにおいて展示を行った。

郷土史コーナーに設置された2つの展示ケースを使用し、1つには大友宗麟公を広く知ってもらうために作成した『府内から世界へ 大友宗麟』小学6年生の郷土学習資料（副読本）の内容を紹介し、あわせて中世大友府内町跡からの出土品を展示している。もう1つのケースは、大分市歴史資料館のインフォメーションとして、平成26年度に開催したテーマ展示と特別展の計4回の情報をパネル展示し、広く市民の方に郷土大分の歴史や大友氏の歴史にふれる場を提供した。



大分市民図書館「郷土史コーナー」展示風景

(4) まちかど歴史展示館

●多くの市民に郷土の歴史や文化を紹介するために、市民学芸員や地域住民と協働して、資料館を出てパネルや資料などの展示を行う「まちかど歴史展示館」を実施した。平成26年4月から平成27年3月にかけて、コンパルホール、大分銀行ドーム、鶴崎市民行政センター、西部公民館、東部公民館、大分駅前広場等とともに、中学校にも出向き、15会場で順次展示を行った。期間中、23,075人の利用があった。



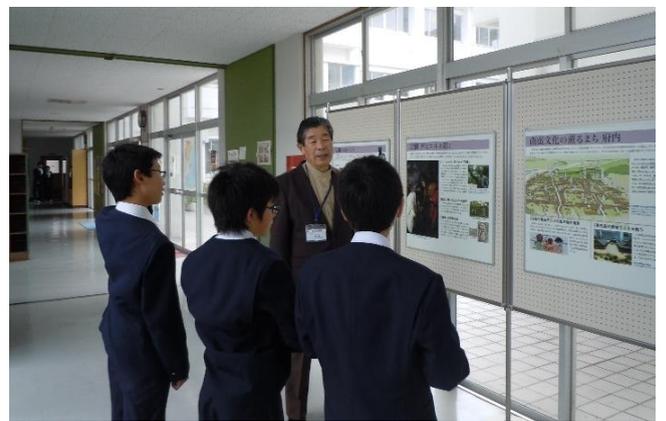
ライフパルでの展示風景



コンパルホールでの展示風景



西部公民館での展示風景



大分西中学校での解説風景



滝尾中学校での展示解説風景

資料収集

資料収集委員会

1. 会議

開催日 平成 27 年 3 月 15 日 (日)

場 所 歴史資料館会議室

議 題 ①平成 26 年度購入予定資料の説明

②購入予定資料の熟覧

③購入予定資料の審議

2. 委員会名簿

氏 名	役 職	専 門
豊田 寛三	別府大学長	日本近世史
段上 達雄	別府大学文学部教授	日本民俗学
菊竹 淳一	九州大学名誉教授	日本美術史
鳥井裕美子	大分大学教育福祉科学部教授	日欧交渉史
下村 智	別府大学文学部教授	日本考古学

寄贈資料

(1) アルバム 1 冊 / 大分連隊写真集 1 冊

吉弘久美子 氏

(2) 陸軍省及び大本営陸軍部主要職員在職期間一覧表(コピー) 1 枚 / 海軍省及び大本営軍部主要職員在職期間一覧表(コピー) 1 枚 / 中部及南東太平洋方面一般図(コピー) 1 枚 / 昭和 16 年 12 月 1 日に於ける全般態制図(コピー) 1 枚 / 南方全般攻略作戦経過要図(コピー) 1 枚 / 比島攻略作戦経過要因図・馬來攻略作戦経過要因図(コピー) 1 枚 / ビルマ方面彼我の態勢要図・ビルマ攻略作戦経過要図(コピー) 1 枚 / 南東方面彼我航空態勢と我が兵力の増強の経路(コピー) 1 枚 / 満州方面対ソ作戦経過概見図(コピー) 1 枚 / 沖縄作戦経過図(コピー) 1 枚 / 有明湾方面配備要図・九州決戦構想要図・関東方面地上決戦構想要図(コピー) 1 枚 / 本土(朝鮮・台湾を含む)地上兵力配備要図(コピー) 1 枚 / 終戦時に於ける陸海軍主要部隊概見図その 1 (コピー) 1 枚 / 終戦時に於ける陸海軍主要部隊概見図その 1 (コピー) 1 枚 / 終戦時に於ける陸海軍主要部隊概見図その 2(コピー) 1 枚 / 終戦時に於ける日本軍の態勢概見図(コピー) 1 枚 / 走り書きメモ 1 枚 / 山柿建氏の「学徒動員(小倉・山田部隊) - 敗戦」手記(コピー) 7 枚 / 山柿建氏の寄贈

資料に関する手記 4 枚 山柿 建 氏

(3) 歩兵 47 連隊入隊時の写真ほか軍関係写真アルバム 1 冊 / 歩兵第 72 連隊旗ほか軍関係写真アルバム 1 冊 / 写真アルバム 1 冊 / 昭和 14 年熊本陸軍教導学校卒業記念写真帖 1 冊 / 第 9 回植樹祭『大分県の天皇・皇后さま』1 冊 / スクラップ・ブック 1 冊

竹本純一・敬子 氏

(4) 外套 1 着 佐藤一朗 氏

(5) 膳写版セット 1 式 / リュックサック 1 点 / 甲冑 1 式 / 陣笠 1 点

三股祐輔 氏

(6) 足踏み式シンガーミシン 1 点

新里裕元 氏

(7) 柳行李 1 点 / 金盃 2 点

大塚祥子 氏

(8) 懐中時計 1 点 / 秤 1 点 / 算盤 1 点

安部慶夫 氏

(9) キリシタン大名大友宗麟年表 1 点

北川徹明 氏

(10) 仲家太郎吉肖像写真 1 枚 / 顕彰碑除幕式古写真 1 枚 / 顕彰碑移転記念式写真 1 枚 / 第二回水産博覧会賞状 1 枚 / 「奉勅」褒章之記賞状 1 枚 / 褒章記章 1 点 / 一等金碑 1 点 / 三等金碑 1 点

古田圭吾 氏

(11) 文机 1 点 / 箱眼鏡 1 点 / 戦時中の教科書 1 点 / 裁ち台 1 点 他 9 点

甲斐正明 氏

(12) 観光絵葉書セット 6 点 / 文箱 1 点 / 軍歌愛国歌流行歌謡集 1 点 / 肥後守 2 点 / 大分国体バッチ 2 点 / 弾丸 1 点 / ゲートル 1 点 / 切手蒐集帖 1 点 / 防寒用うさぎの毛皮 1 点 / 大東京電車案内 1 点 / 日満支語早わかり大陸風俗写真帖 1 点 / はかま 4 点 / 日岡幼稚園名札 1 点 / お菓子の由来書き 2 点 / 井三つ組み一式 1 点 他 59 点

寺司和子 氏

(13) 故松浪久泰氏コレクション(大分川河川敷遺跡・津守遺跡等表採資料) 62 箱

松浪和子 氏



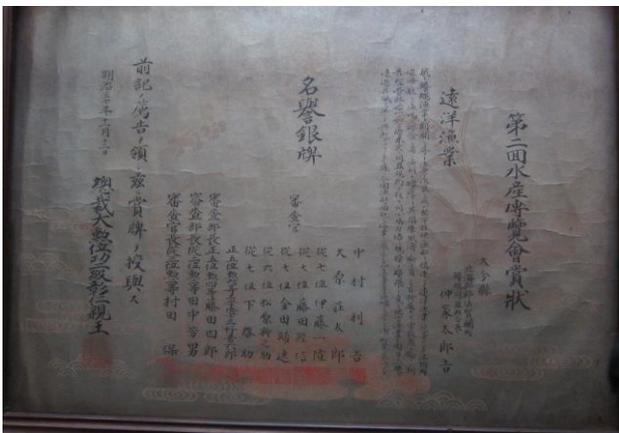
柳行李 大塚祥子氏寄贈



故松浪久泰氏コレクション 松浪和子氏寄贈



懐中時計・秤・算盤 安部慶夫氏寄贈



第二回水産博覧会賞状 古田圭吾氏寄贈



防寒用うさぎの毛皮他 寺司和子氏寄贈

購入資料

- (1) ホンディウス「中国図」 1枚
縦 34.0×横 45.0cm

アントウエルペン(アントワープ)の地図作者ホンディウスが、メルカトールの銅版を引き継いで作成し、1606年に刊行した中国図。本図には、中国だけでなく、朝鮮や日本を含めた東アジア全体が描かれている。

本図の日本・朝鮮の形状は、1595年に刊行されたティセラの日本図のそれを踏襲しているものの、九州には「Figen(肥前)」・「Bungo(豊後)」・「Osumi(大隅)」の3つの地名と城の表記がなされており、龍造寺氏・大友氏・島津氏の勢力が鼎立し争った状況が読み取れ、その後の歴史の推移が表現されている。

日本の右側にはイエズス会宣教師が処刑されている図もあり、天正15年(1587)の伴天連追放令以来、多くの宣教師や信徒が捕えられ、慶長元年(1596)には長崎で宣教師・信徒以下26名が処刑された、日本におけるキリシタン弾圧の状況も表現されているなど、貴重な内容の資料である。

- (2) 『永代節用無尽蔵』 2冊
縦 25.7×横 19.2cm
嘉永2年(1849)刊

本書は、天保2年(1831)河邊桑揚らが編纂し、江戸で出版された『永代節用無尽蔵』という国語辞書を、嘉永2年(1849)に京都の勝村治右衛門らが再版・刊行に及んだものである。

ことばの読みからイロハ引きで漢字を求めることができるほか、武将略伝・武鑑・小笠原流札式・時候といったジャンルや、世界地図、日本地図、富士山の彩色図なども収めるなど、こんにちの百科事典ともいえるべき内容を備えた辞書となっている。

全国の大名家・旗本の家紋・居城・石高・旗指物を記し紹介した本書の武鑑では、豊後国の中川修理大夫久昭(在任：1841～1868年)・稲葉富太郎観通(在任：1845～1862年)・松平市正親良(在任：1825～1868年)・木下主計頭俊方(在任：1848～1855年)・松平左衛門尉近説(在任：1842～1868年)・毛利安房守高泰(在任：1833～1862年)・久留島安房守通容(在任：1847～1849年)の大名家の名前が記されており、内容も出版当時の最新状況に改められている。

また、世界地図や富士山の彩色図も新たに加えられ、特に世界図は、ロシアをはじめとするヨーロッパ列強国の船が日本沿岸を訪れる状況下、民間でもそうした国々に対する関心が高まったこと、富士山の図は江戸時代に盛んとなった富士信仰が影響したものと思われる。

いずれにしても、江戸時代末の豊後をはじめ、多くの庶民の関心や動向がわかる、貴重な資料である。

(3) 『御飾書』 2冊
縦 17.8×横 24.8cm
万治3年(1660)刊

本書は、足利将軍邸における座敷飾りの礼式を記したもの。序文によると、室町幕府8代将軍足利義政に同朋衆として仕え、茶式に詳しく絵画にもたくみな人物として世に聞こえた相阿弥(真相)が、東山殿御座敷とそこでの御道具飾りについて記し、10代将軍義植へ進上した内容を、万治3年(1660)に刊行したとある。

義政が文明7年(1475)に建設した小河御所での座敷飾りの様子を記した後、足利将軍家で収集された唐物を中心とする東山殿御物の名物全132点(懸物15点、懸絵9点、茶入31点、歌書10点、花入6点、茶碗4点、釜9点、水指3点、茶杓3点、香箱4点、香炉3点、聞香炉1点、天目5点、台4点、碗3点、筆架2点、茶入の盆3点、柄杓立1点、壺16点)が書き上げられている。

それらの名物の中には、後に大友宗麟が所持した懸絵「山市晴嵐」や、同じく宗麟が所有した茶入「上杉ひやうたん」の名前もみられ、当時大友家においても将軍家を規範に唐物を中心とする名物の収集、およびそれらを基調とした座敷飾りが行われたことがうかがえる。本御飾書の内容は、そうした大友館の室礼を理解する上で

貴重な資料である。

また本書後半には、江戸時代の正保3年(1647)頃の幕府ならびに大名家にある茶道具が記されており、そこには、そもそも東山御物の一つで、家康が大坂夏の陣の褒賞として孫である松平忠直に下賜した茶入「初花」と、その当時の所有者である「松平一伯殿」の名前や、村田珠光から信長、大友宗麟、秀吉、家康を経て水戸徳川家に伝えられた茶入「新田」肩衝と、同じくその所有者「水戸様」の名前もみられるなど、東山殿御物をはじめとする名物の江戸時代における伝来の状況も示されている。

なお、『御飾書』とセットで出版された『玩貨名物記』にも同様の内容が記されており、本書にもその『玩貨名物記』なる本があわせて伝えられている。

(4) 「筑紫将軍大友家系図」 1巻
縦 29.5×横 271.4cm

豊後大友氏初代能直から22代義統までの歴代当主の名前や官途・官位・没年月日・没年齢等を記したもの。一部、簡単な事績も記されている。

本史料は、文禄3年(1595)大友義統の記した「公方様當家條々要目複本」(『増補訂正編年大友史料』30)の中の「當家御代々御位牌」にみえる歴代当主の没年月日ともほぼ一致することから、しかるべき史料をもとに記述されたものとみられる。

しかしながら、20代大友義鑑が津久見美作・田口蔵人らの家臣に討たれた“二階崩れの変”に関する年代を天正16年とするなど、一部に大きな年代の誤りもみられる。

また、この大友家系図は、その後半に大友氏の改易から松平忠昭入部までの歴代府内藩主とその簡単な事績も記されている。これらのことから、本系図は大友氏の関係者、ないしは豊後府内在住者の手によるものと考えられる。

教育普及活動

ふるさとの歴史再発見

高校生以上を対象に、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4コースの講座を下記の日程で開講。

定員：70名 / 受講料：各コース300円 / 時間：14時～15時30分

(1) 考古のコース 期間 4月～6月 各指定の土曜日 受講申込者数(64人)受講者総数(276人)

実施日	内容	講師	受講者
4月12日	動物と考古学 縄文・弥生の動物たち	中西武尚(当館職員)	57人
26日	大友氏館跡の巨大庭園と最先端の庭造り	松浦憲治(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	46人
5月10日	酒蔵発掘 水が織りなす風土と歴史	塩地潤一(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	41人
24日	鶴崎御茶屋と法心寺の発掘調査	佐藤道文(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	43人
6月14日	光西寺の発掘調査と禁裏御用品の発見	長直信(当館職員・埋蔵文化財保存活用センター)	42人
21日	中津城と黒田官兵衛	高崎章子(中津市教育委員会文化財課文化財係長)	47人

(2) 歴史のコース 期間 7月～9月 各指定の土曜日 受講申込者数(64人)受講者総数(212人)

実施日	内容	講師	受講者
7月12日	大友氏の府内の御蔵	武富雅宣(当館館長)	65人
19日	大分の仏像	松岡健太(当館職員)	54人
8月9日	臼杵藩の歴史資料	岡村一幸(臼杵市教育委員会主査)	中止
30日	大分の歴史にまつわる妖怪について	斉藤行雄(大分県会計管理局主査指導室長補佐)	51人
9月13日	カッパからみた江戸時代人の自然観	平川毅(大分県立歴史博物館主任学芸員)	42人
27日	近世大分の幕開け 大友が去った！官兵衛が来た！ そして小藩分立へ	松原勝也(大分県立先哲史料館属託職員)	42人

*8月9日は台風のため中止

(3) 民俗・文化史のコース 期間 11月～1月 各指定の土曜日 受講申込者数(52人)受講者総数(133人)

実施日	内容	講師	受講者
11月15日	世界農業遺産と七島い	細井雅希(杵築市教育委員会生涯学習課嘱託職員)	39人
12月13日	鳥瞰図に描かれた別府温泉 ～近代ツーリズムと吉田初三郎らのまなざし～	大山琢央(豊後高田市教育庁総務課文化財課主任)	37人
12月20日	世界と大友宗麟	福岡加容(当館職員)	30人
1月10日	大分市の年中行事、あれこれ	藤坂彰子(当館職員)	27人

(4) 古文書のコース 期間 1月～3月 各指定の土曜日 受講申込者数(70人)受講者総数(270人)

実施日	内容	講師	受講者
1月17日	「由原宮撰末社ノ事」(杵原八幡宮文書)	武富雅宣(当館館長)	62人
2月14日	「雑記帳」(生石子家文書)	武富雅宣(当館館長)	60人
28日	〃	武富雅宣(当館館長)	48人
3月14日	〃	武富雅宣(当館館長)	52人
28日	〃	武富雅宣(当館館長)	48人

ふるさとの歴史再発見受講者総数 891人

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やPTA、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動等の利用があった。

☆移動講座(移動歴史教室) 歴史体験学習をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館へ出かけて体験学習を実施した。

〈学校・団体体験等活動利用数〉

	利用団体数				利用者数				合計
	学校	団体	移動	合計	資料館		移動講座		
					児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	0	4	2	6	90	89	40	19	238
5月	3	5	7	15	794	280	509	119	1,702
6月	3	7	5	15	380	192	198	44	814
7月	5	6	17	28	291	169	972	496	1,928
8月	2	13	5	20	702	494	88	73	1,357
9月	16	5	3	24	653	219	159	65	1,096
10月	27	9	6	42	2,760	343	482	363	3,948
11月	18	5	7	30	1,718	424	258	125	2,525
12月	3	4	0	7	316	142	0	0	458
1月	9	3	0	12	786	151	0	0	937
2月	10	2	1	13	480	211	348	17	1,056
3月	3	7	2	12	452	167	301	28	948
計	99	70	55	224	9,422	2,881	3,355	1,349	17,007

ふれあい歴史体験講

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

時間：午前9時30分～/午後2時～

回	実施日(土曜日)	内容	参加者数		
			子ども	大人	計
1	4/19	午前・午後 粘土はにわ作り	36	37	73
2	5/17	午前・午後 勾玉作り	33	21	54
3	6/7	午前・午後 土笛作り	52	34	86
4	6/28	午前・午後 管玉・丸玉作り	35	24	59
5	7/5	午前・午後 七夕作り	28	23	51
6	7/26	午前・午後 土面作り	44	26	70
7	8/16	午前・午後 土偶作り	29	23	52
8	8/23	午前・午後 粘土はにわ作り	64	40	104
9	9/6	午前・午後 管玉・丸玉作り	16	15	31
10	9/20	午前・午後 土鈴作り	10	15	25
11	10/11	午前・午後 勾玉作り	28	22	50
12	11/8	午前・午後 かご編み	0	35	35
13	12/6	午前・午後 和風作り	30	21	51
14	1/24	午前・午後 勾玉作り	44	36	80
15	2/7	午前・午後 土偶作り	18	15	33
16	2/21	午前・午後 折り紙雛作り	22	92	114
17	3/7	午前・午後 粘土はにわ作り	26	26	52
18	3/21	午前・午後 勾玉作り	33	25	58
合計			551	527	1,078

体験講座	材料費
勾玉作り	200円
粘土はにわ作り	230円
土笛作り	60円
管玉・丸玉作り	260円
和風作り	200円
かご編み	430円
土面作り	130円
土の鈴作り	60円
土偶作り	180円
折り紙雛作り	300円
七夕飾り	無料



折り紙雛



粘土はにわ作りの様子



折り紙雛作りの様子

昔のおもちゃで遊ぼう！

子どもの日に昔ながらの手作りおもちゃで遊んでもらう体験講座を実施した。あいにくの天候のため、例年のように豊後国分寺跡史跡公園は使用できず、館内と館の軒下を利用して行なった。人気の大正2年に作られた消防ポンプ「竜吐水」による放水体験も行った。

実施日：5月5日（月） 9時～16時

料 金：無料

内 容：昔のおもちゃ（折り紙飛行機・割箸紙飛行機・竹トンボ・ブーメラン・竹馬・竹カップカッポ・こま・竹弓矢・羽子板・シャボン玉・水鉄砲・竹アーチェリー・わなげ・ゴム鉄砲・切り紙・糸電話・ぬりえ・数珠玉・お手玉・おはじき）、竜吐水

参加者：375人（大人208人／子ども167人）



輪投げに挑戦



家族で竹弓矢を楽しむ



竜吐水の放水体験

勾玉作り教室

夏休みと秋の祝日に、事前申込不要で、随時勾玉作りを楽しんでもらえる講座を、計4回実施。

受付時間：9時～11時、13時～15時

材 料 費：1セット 200円

回	実施日	参加者数		
		子ども	大人	計
1	8/ 2(土)	211	132	343
2	8/ 3(日)	198	137	335
3	11/22(土)	35	33	68
4	11/23(日)	26	25	51
合 計		470	327	797



削り作業の様子



色つけの様子

夏休みジュニア歴史探検

小4～中学生を対象に、館内や史跡公園をクイズを解きながら巡る歴史探検やオリジナル勾玉作りなどを実施。

実施日：7月31日（木）9時30分～16時

内 容：勾玉作り・歴史クイズ・館内見学など

実施日	参加者数		
	子ども	参 観	計
8/4(木)	22	0	22



史跡公園を探検

職場体験学習の受け入れ

小6～中学生を対象に、資料館職員の仕事を体験。

	学校数	受け入れ日数	のべ人数
中学校	6校	13日	83
小学校	1校	1日	10
合計	7校	17日	93



拓本作業の様子



小学生体験活動の補助



体験講座の準備



小学生への展示解説

歴史教育研修

夏休み・冬休みの期間に、小・中学校教諭を対象に、資料館の体験活動や郷土の歴史について研修を開催。

時 間：9時～12時

実施日	内 容	参加者
8/7(木)	資料館の体験活動	7
8/19(火)	大友宗麟を扱った授業	9
8/20(水)	市内指定文化財の見学	9
12/25(木)	高崎山での現地学習	6
	合 計	31



副読本を使った研修の様子

博物館実習

実習生1名を受け入れて、下記の日程・内容で実施した。

実施日	内 容	担当
7/29	施設運営と管理/体験学習講習	久多羅木
7/30	資料の保存・管理/企画展示等	一瀬・藤坂
7/31	ジュニア歴史探検実習等	志賀・松岡
8/1	教育普及活動/体験学習講習等	小野・合澤
8/2	勾玉作り教室	志賀・中西
8/3	勾玉作り教室	中西・松岡
8/5	資料の整理・取扱い/レポート	一瀬・中西

展示解説講座

テーマ展示及び特別展の展示品や内容をスライド等で解説する講座を実施。

時 間：14時～ 料 金：無料

実施日	内 容	参加者
5/11(日)	テーマ展示Ⅰ解説	25
8/10(日)	テーマ展示Ⅱ解説	18
11/2(日)	特別展解説	31
2/1(日)	テーマ展示Ⅲ解説	20
	合 計	94

ビデオライブラリー

館蔵ビデオ の上映サービスを実施。

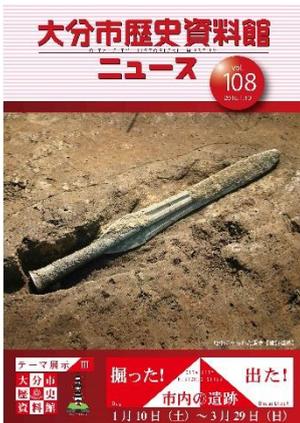
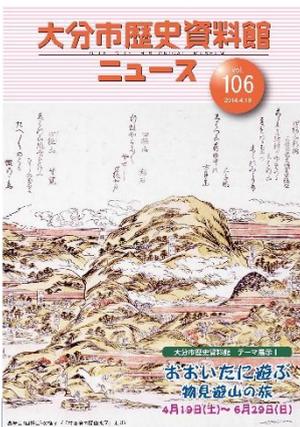
時間：随時 料金：無料

月	視聴者数		
	子ども	大人	合計
4月	90	192	282
5月	241	338	579
6月	87	249	336
7月	72	188	260
8月	505	398	903
9月	26	114	140
10月	0	0	0
11月	61	186	247
12月	30	88	118
1月	57	94	151
2月	0	108	108
3月	0	100	100
合計	1,169	2,055	3,224

刊行物

名称	規格	頁数	部数
歴史資料館ニュース 106号	A4	4	6,500
〃 107号	A4	4	6,500
〃 108号	A4	4	6,500
第33回特別展図録	A4	40	1,000
資料館リーフレット	A4	三折	10,000
体験リーフレット	A4	4	8,000
おおいた春夏秋冬 くらしの行事	A4	29	2,000

※年報はホームページに掲載



テーマ展の.....テーマ展は、大分県内各地の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

特別展.....特別展は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

学習コーナー.....学習コーナーは、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

常設展示.....常設展示は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

資料館の活動について

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

資料館の活動について

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

常設展示

1階

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

2階

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

3階

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

4階

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

大分市歴史資料館の体験学習

見て、聞いて、やってみて、楽しく歴史を学ぶ！

おおいた 春夏秋冬 くらしの行事

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

大分市歴史資料館の体験学習

大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。展示内容は、大分県内の歴史・文化・自然をテーマにした展示を行います。

I 古代人の技術しよう！

【小・中・高・PTA・地区公民会・PTA】

勾玉作り

古代火おこし

II 二人組でもできます

土面作り

土器作り

土偶作り

粘土はにわ作り

III 見て、聞いて、触れて、暮らしの移り変わりについて学ぼう！

【小・中・高・PTA・地区公民会・PTA】

明るさ体験

昔の農機具体験

昔の暮らしの道具

IV 歴史学習の支援

公園利用

資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件名	件数
熟覧・写真撮影	140件
テレビ撮影・雑誌等の取材	30件
印刷物掲載・写真貸与	53件

(2) 資料の貸出

団体名	展示会名	点数
大分県立歴史博物館	うつわーおおいたの食文化とうつわー	3点
大分県立先哲史料館	近世大分の幕開け ー大友が去った！官兵衛が来た！そして小藩分立へー	1点
杵築市教育委員会	杵築ふるさとアカデミー きつき子ども歴史探検	2点
大分県立歴史博物館	九州の戦国	6点
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	戦国時代の金とガラスーきらめく一乗谷の文化と技術ー	21点
九州国立博物館	戦国大名ー九州の群雄とアジアの波濤ー	6点
大阪城天守閣	大阪の陣 400年記念特別展 豊臣と徳川	2点
九州歴史資料館	古墳から火葬墓へー北部九州における古墳の終末ー	14件

広報事業

平成26年度は、以下の施設等に総合案内・歴史資料館ニュースの配布・掲示のPR活動を実施。

学校	小・中学校	89校
	高等学校、大学	75校
行政	市役所関係	88カ所
	県庁関係	4カ所
	県内自治体	48カ所
博物館	県外博物館	157カ所
	県内博物館	15カ所
	県外埋文等	111カ所
その他	賀来地区自治会（毎月）	21地区
	市政記者クラブ（随時）	21社
	県内マスコミ	18社
	交通機関・一般施設等	54カ所

市民学芸員の活動

市民や地域にとってより身近な資料館をめざし、平成24年度より「市民学芸員」を募集した。平成26年度は、33人が登録し、古文書の解読と整理を行う「資料グループ」、来館者への展示解説を行う「解説グループ」、体験活動の指導を行う「体験グループ」の3つに分け、のべ129回にわたって活動した。



資料グループの活動風景



解説グループの活動風景



体験グループの活動風景

歴史資料館利用状況

月別観覧者数

単位：人

年 ／ 月	開館 日数	観覧者数									講座室利用者数							総来 合館 計者	
		一般				団体				合 計	一般		資料館講座			映画会			合 計
		大人	高校生	中学生	小学生	大人	高校生	中学生	小学生		大人	小中高生	歴史講座 解説講座	資料館 主催 体験講座	学校等 体験教室	大人	小中学生		
26/4	25	484	13	4	339	224	0	0	164	1,228	89	0	103	73	165	192	90	712	1,940
5	27	478	9	26	159	426	0	24	1,323	2,445	98	0	109	429	1,273	338	241	2,488	4,933
6	25	530	0	3	151	298	0	6	629	1,617	54	0	89	145	669	249	87	1,293	2,910
7	27	383	4	6	154	270	0	41	192	1,050	98	0	119	143	1,785	188	72	2,405	3,455
8	27	516	3	18	173	536	0	17	711	1,974	77	0	69	834	523	398	505	2,406	4,380
9	24	413	0	0	65	323	0	64	988	1,853	44	0	84	56	1,040	114	26	1,364	3,217
10	24	275	2	2	69	303	0	0	2,653	3,304	34	0	0	50	3,898	0	0	3,982	7,286
11	23	713	1	6	48	668	0	233	3,115	4,784	48	0	128	154	2,371	186	61	2,948	7,732
12	22	187	1	1	24	217	0	1	601	1,032	78	0	67	51	407	88	30	721	1,753
27/1	23	329	5	0	58	297	0	0	1,528	2,217	113	0	89	80	857	94	57	1,290	3,507
2	23	310	1	7	37	354	22	0	458	1,189	90	0	128	147	909	108	0	1,382	2,571
3	26	347	1	3	65	224	0	0	127	767	116	0	100	110	838	100	0	1,264	2,031
合計	296	4,965	40	76	1,342	4,140	22	386	12,489	23,460	939	0	1,085	2,272	14,735	2,055	1,169	22,255	45,715

管 理 及 び 運 営

1. 歴史資料館協議会

第1回 開催日 平成26年7月30日(水)

会場 大分市歴史資料館 会議室

- (1) 委嘱状・辞令の交付
- (2) 委員・職員紹介
- (3) 議事
 - ①平成25年度事業報告
 - ②平成26年度事業計画及び経過報告
 - ③その他

第2回 開催日 平成27年2月27日(金)

会場 大分市歴史資料館 会議室

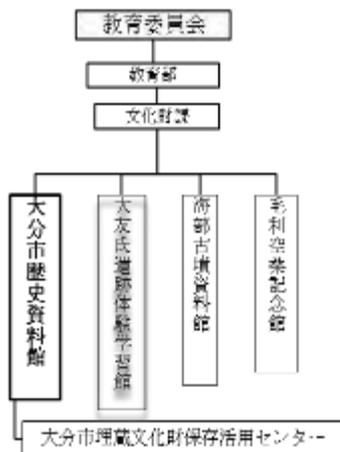
- (1) 議事
 - ①平成26年度事業報告
 - ②平成27年度事業計画(案)
 - ③その他

協議会委員名

氏名	役職	備考
橋 昌信	別府大学教授	学識経験者
豊田 寛三	別府大学学長	〃
小林 浩典	大分県立歴史博物館長	〃
渋谷 忠章	元大分県立歴史博物館長	〃
後藤 直美	大分市PTA連合会 女性副会長部員	社会教育 関係者
古川 裕子	FM大分取締役編成制作 部長	〃
安部 俊児	大分市小学校 校長会代表	学校教育 関係者
淵野 暢浩	大分市中学校 校長会代表	〃

2. 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

(1) 組織機構



(2) 分掌事務

- ①資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- ②歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- ③常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- ④歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- ⑤歴史、考古、民俗等(以下「歴史等」という。)についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- ⑥学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- ⑦歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

(3) 職員

(平成27年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長	武富 雅宣	嘱託(顧問)	讃岐 和夫
副館長	久多羅岐 明	嘱託	岩尾 良美
グループリーダー 指導主事	小野 富広	嘱託	合澤 昭子
主査	高野 令子	嘱託	神志那 潔
主査	吉野 晃司	嘱託	福間 加容
専門員	中西 武尚	嘱託	藤坂 彰子
指導主事	志賀 良史	嘱託	一瀬 勇士 H26.9.30退職
主査(再)	矢野 富幸	臨時職員	水ノ江純平
事務員	松岡 健太	臨時職員	和田 広美

(4) 歳入歳出 [平成26年度実績] 単位：千円

歳入		歳出	
科目	金額	科目	金額
観覧料・ 講座室使用料	504	管理運営費	29,884
歴史講座受講料	74	企画展費	6,721
図録売払代金	182	資料購入費	814
雑収入	2		
雇用保険徴収金	8		
計	770	計	37,419

3. 施設管理業務の内容

(1) 施設管理業務の一部委託

- ①警備……………総合警備保障(株)
- ②清掃(館内及び受水槽・高架水槽)
……………(有)日本ビルサービス
(館外)……………(有)協和環境
- ③電気工作物保安管理
……………日本電気保安(株)
- ④空調設備(冷暖房)保守点検整備
……………日本暖房鉄工(株)
- ⑤消防設備点検……………新日本消防設備(株)
- ⑥エレベーター保守点検
……………フジテック(株)西日本支社九州支店
- ⑦自動ドア保守点検……………大分ナブコ(株)
- ⑧浄化槽維持管理……………大分浄化槽管理(株)
- ⑨地下灯油タンク等漏洩検査
……………(有)二豊サービス

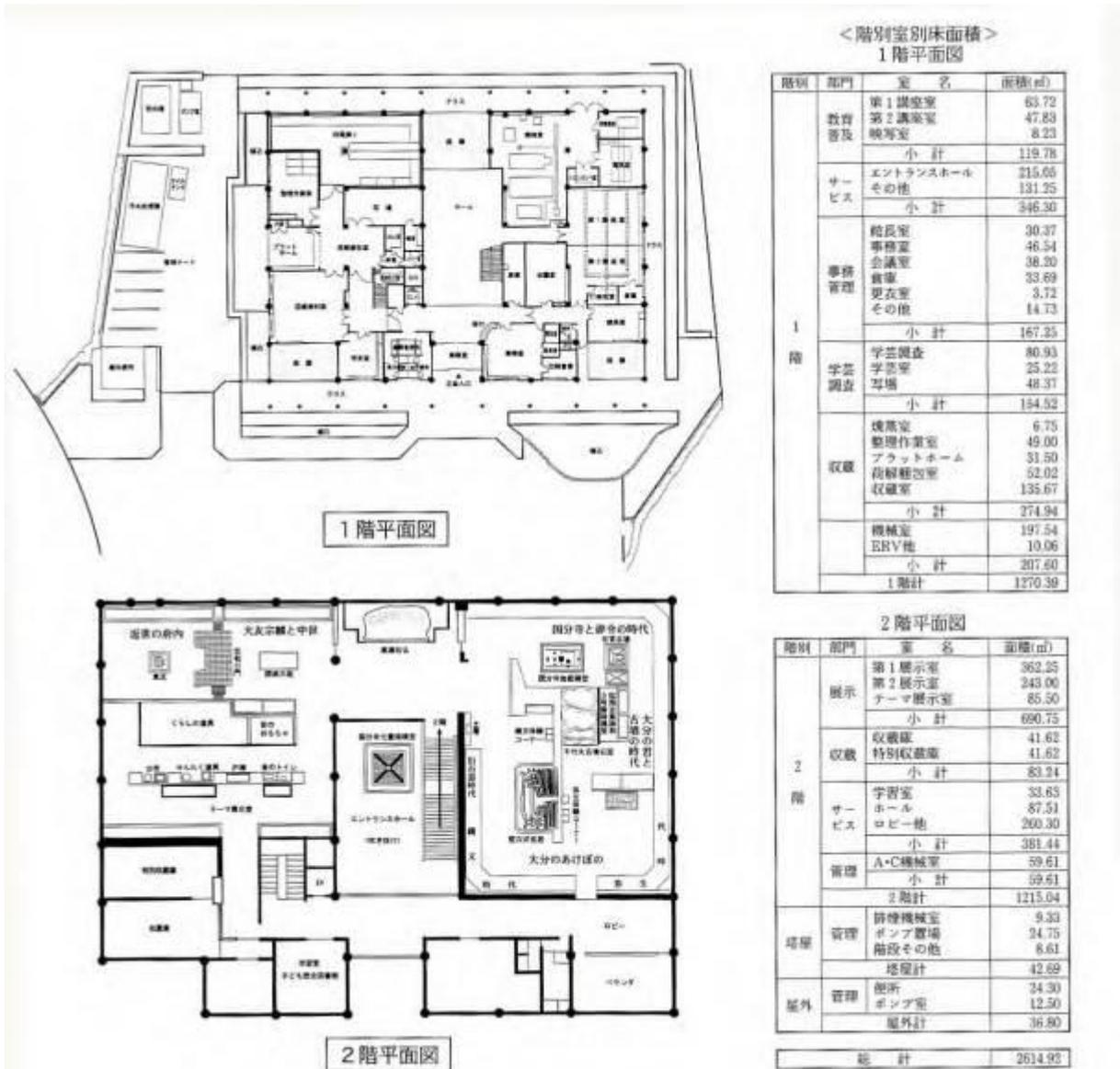
- ⑩モニターカメラ設備保守点検
……………J & K ビジネスソリューション(株)
- ⑪ボイラー保守点検……………日本暖房鉄工(株)
- ⑫展示資料及び収蔵庫燻蒸
……………(株)大分イカリテクノス
- ⑬燻蒸設備保守点検……………(有)環境技研
- ⑭歴史資料館緑地帯及び
豊後国分寺跡史跡公園管理
……………ウメサン(株)

(2) 消防訓練の実施

平成 26 年 7 月 7 日(月)

入館者を安全かつ迅速に避難誘導するとともに、初期消火活動の技術の向上をはかり、併せて職員の防火意識の高揚をはかる目的で実施した。参加人員 17 名

施設の概要



利用案内

開館時間 9時～17時
(入館は16時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
ただし、毎月第1月曜日は開館し、
翌火曜日が休館(祝日は開館)
祝日の翌日
(土・日曜日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料 大人200円(団体150円)
高校生100円(団体50円)
中学生以下は無料
*団体は20名以上
*特別展開催中は、別料金となる
場合があります。

交通機関 JR久大本線
◎豊後国分駅下車：徒歩2分
大分バス [国分新町行き]
◎歴史資料館入口下車：徒歩5分
大分自動車道
◎大分 I.C.・光吉 I.C.よりともに
約15分



2014.4～2015.3 OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

大分市歴史資料館総合案内

4 テーマ展示Ⅰ
おおいに遊ぶ 物見遊山の跡
4月19日(土)～6月29日(日)

5 テーマ展示Ⅱ
化けた! 出た! 道具のおぼけ
7月12日(土)～9月28日(日)

6 テーマ展示Ⅲ
掘った! 出た! 市内の遺跡
1月10日(土)～3月29日(日)

ふるさとの歴史再発見
(全4コース 14時～15時30分)
◆考古のコース 4～6月 各指定の土曜日
◆歴史のコース 7～9月 各指定の土曜日
◆民俗・文化史のコース 11～12月 各指定の土曜日
◆古文書のコース 1～3月 各指定の土曜日

ふれあい歴史体験講座
■対象 各年50～70名(先着順)
■対象 親子と一般(大人のみ可)
■時間 9時30分～14時～

音のおもちゃで遊ぼう
■日時 5月5日(月) [こどもの日]
9時30分～16時(15時以降終了)
■場所 歴史資料館おもちゃ史跡公園

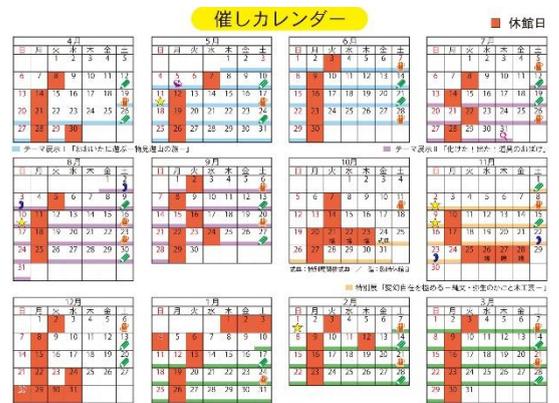
夏休みジュニア歴史探検
■日時 7月31日(水)
9時30分～15時30分
■対象 小学生～中学生
■定員 50名(抽選)

勾玉作り教室
■開催 第1回 8月2日(土)
第2回 8月3日(日)
第3回 11月22日(土)
第4回 11月23日(日) [勤労感謝の日]
■受付時間 9～11時と13～15時

特別展
変幻自在を極める
縄文・弥生のかごと木工芸
10月24日(金)～11月24日(月)

利用案内
■開館時間 9時から17時 (入館は16時30分まで)
■休館日 月曜日(祝日の場合は開館)
但し、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館
年末年始 12月28日～1月4日
■観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
中学生以下は無料
※団体は20名以上
※特別展開催中は、別料金となる場合があります。
■住所 〒870-0864 大分市大字園分60-1
TEL 097-549-0200 FAX 097-549-2769

保存の詳しい内容、応募方法などは情報「大分市ホームページ」でお知らせします。
大分市ホームページ<http://www.city.oita.lg.jp/>「観光・魅力・観光」>「文化・歴史」>「歴史・文化を学ぶ」>大分市歴史資料館





大分市歴史資料館年報

2015

発行日 平成 27 年 7 月 30 日

編集・発行 大分市歴史資料館

〒870-0864 大分市大字国分 960 番地の 1

TEL(097)549-0880 FAX(097)549-5766
